

# 熊取町議会委員会会議録

## 環境施設広域化調査特別委員会

令和4年3月11日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[環境施設広域化調査特別委員会]

ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について .....	1
し尿処理広域化に係る経過等について .....	5

## 環境施設広域化調査特別委員会

月 日 令和4年3月11日（金曜）招集

場 所 熊取町役場議場

出席委員	委員長	鯉谷陽子	副委員長	浦川佳浩
	委員	大林隆昭	委員	文野慎治
	委員	河合弘樹	委員	渡辺豊子
	委員	江川慶子	議長	二見裕子

欠席委員 なし

説明員	町長	藤原敏司	副町長	南和仁
	総合政策部長	明松大介	総務部長	林利秀
	住民部長	巖根晃哉	住民部理事	山本浩義
	環境センター所長	椿原康雄		
事務局	議会事務局長	藤原伸彦	書記	瀬野裕三

案 件

- 1) ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について
- 2) し尿処理広域化に係る経過等について

委員長（鯉谷陽子君）皆さん、おはようございます。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日、3月11日で、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から11年を迎えます。犠牲となられた多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の方、また、いまだ不自由な日常をお過ごしの方々に、心からお見舞いを申し上げます。被災地、また被災者の皆様の一日も早い復興を心より祈念いたします。

さて、本日の審査に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから環境施設広域化調査特別委員会を開会いたします。

（「10時00分」開会）

委員長（鯉谷陽子君）発言される方は、挙手の上、着座で、マスクはつけたまま発言していただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症への対策として、換気のため一部の窓を開けておりますので、ご了承ください。

本日の案件は、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件ほか1件であります。

初めに、案件1、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件について説明願います。椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）それでは、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についてご説明いたします。

まずは、1点目の令和3年度委託業務及び本町負担金についてですが、1つ目の二重丸、令和3年度委託業務としまして、1件目が新ごみ処理施設整備事業に係る施設整備基本設計策定及び環境影響評価等業務、契約金額が3億266万5,000円でございます。

業務の内訳ですが、施設整備基本設計策定が2,087万8,000円、環境影響評価が2億7,299万8,000円、PFI等導入可能性調査が481万8,000円、都市計画決定支援が397万1,000円となり、合計で3億266万5,000円となります。契約業者が株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間が令和3年7月5日から令和7年3月28日の4年間契約でございます。このうち、令和3年度支払い額は7,175万3,000円で確定しておりまして、これを3市町で負担することになっております。

次に、2件目としまして、新ごみ処理施設整備に係る地質調査等業務委託、予算金額が1,310万3,000円、契約金額が825万円ですが、業務の仕様に変更がありまして、金額も変更される予定となっております。業務内容としましては、新ごみ処理施設建設候補地のボーリング調査でございます。契約業者が川崎地質株式会社南大阪事務所、契約期間が令和3年12月10日から令和4年3月25日となっております。

次に、2つ目の二重丸、令和3年度本町負担額ですが、983万2,000円の予定でございまして、下の①委託費と②補助金等の合計額でございます。

まず、①の委託費が925万8,000円となっております。内訳としまして、業務委託支払い額から交付金を差し引いた額が4,215万5,000円となりまして、これを3市町で案分するわけですが、施設建設費につきましては、均等割15%プラス計画搬入量割85%で合意しておりまして、また、令和3年度からの業務委託費につきましては建設費として扱うことになっておりますので、均等割分15%の3分の1プラス本町計画搬入量割分85%掛ける19.95%の結果が21.96%となりますので、さきの4,215万5,000円に21.96%を掛けまして925万8,000円となります。

次に、②の補助金等が57万4,000円の予定です。地域共存推進補助金が172万1,000円の予定となっております。地元説明会に係る経費、費用につきましては、全て均等割で負担することで合意しておりますので、172万1,000円の3分の1で57万4,000円が本町負担額となります。その内容ですが、地域共存推進補助金が、環境と共生する街 上之郷づくり委員会の運営補助分でございます。旅費が大阪府等への出張旅費、使用料及び賃借料が地元説明会の資料作成費、会場使用料及び地元住民の先進施設への見学費用、備品購入費が地元説明会用機材購入分となります。

続きまして、2ページのほうをご覧ください。

2点目の環境影響評価方法書等縦覧及び意見の受付についてですが、環境影響評価、いわゆる環境アセスメントの方法書等の縦覧が令和4年2月15日から令和4年3月14日までの期間、熊取町役場住民情報コーナー等で実施されておるところでございます。また、この業務に対し、事業者等へ環境保全の見地からの意見書受付が令和4年3月28日まで行われております。

次に、3点目の泉佐野市田尻町清掃施設組合への職員派遣についてですが、当該組合へ熊取町の職員1名を令和3年4月1日から派遣し、新ごみ処理施設の建設に向けた環境影響評価などの業務及び新ごみ処理施設建設に係る業務に従事させているところでございます。

次に、4点目のごみ処理広域連携検討会における協議内容についてですが、当該検討会は、令和3年4月から令和4年2月までの間に8回開催されておりまして、環境影響評価業務の業者選考方法の検討や地元説明会の進捗状況の確認等を行ったところであります。また、新ごみ処理施設維持管理経費の負担割合と地元対策に関する構成市町の負担について、現在協議を継続中でございます。維持管理経費の負担割合における本町の考え方としましては、施設運営の維持管理経費の中に一定の固定経費が存在しているため、固定経費程度の均等割の導入は妥当と判断しておりますので、現在、均等割と搬入量割を組み合わせる方向で協議を進めているところでございます。また、地元対策に関する構成市町の負担につきましては、建設候補地の周辺地区からの要望集約をまだ終えておりませんため、集約後、必要性を含め、検討を進める予定となっております。

次に、5点目のごみ処理広域連携検討会担当者会議の開始についてですが、令和3年10月5日よりごみ処理広域連携検討会担当者会議を月1回程度の頻度で行い、構成市町の実務担当者がごみの搬入基準の統一や新施設の設備検討などの協議をしているところでございます。

最後に、6点目の今後の予定ですが、①の令和4年度実施業務としまして、今年度に引き続き、

環境影響評価手続業務、施設整備基本設計業務、PFI導入可能性調査業務、都市計画決定支援業務や造成、インフラ整備、地元対策等の経費に関する負担割合の検討等を予定しておるところでございます。

②の施設整備スケジュールですが、令和5年から7年度に造成工事を産業集積地化事業にて行い、令和6年から7年に事業者公募、決定、令和8年度からは新施設工事を4か年かけて行いまして、令和12年には新施設稼働開始というスケジュールでございます。

本件の説明は以上でございます。

委員長（鱧谷陽子君）それでは、質疑を行います。質疑はありますか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）おはようございます。

まず、1点目を教えていただきたいんですが、2つ目のポツの委託業務の中の新ごみ処理施設整備に係る地質調査業務委託についてなんですけれども、先ほど契約金額に変更がある予定というふうに説明ありましたが、今、これ昨年12月10日から3月25日までボーリング調査をやっているところの中で、ボーリングする箇所というのですか、そういうところが増えたんですかね。その変更について、変更予定とあるその辺の説明をお願いします。

委員長（鱧谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）こちらのボーリング調査でございますけれども、当初の設計の段階では、そのボーリングに係る機材とか、人員とか、材料、こういったものを自動車に乗せて運び込めるであろうという請求をしておったところなんですけれども、ちょっと現地がどうも険し過ぎるということで、別途ミカン畑とかにあるようなモノレール、ああいうものを設置して運び込まないといけないということになりましたので、その分が増額となってしまったというふうに聞いております。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。私たちが現場を見に行ったときにすごい傾斜地やったので、当初からそういうのは想定できたん違うかなというふうにちょっと思いますけれども、どのくらいの金額が増額になる予定なんですか。

委員長（鱧谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）具体的に最終幾らというのはまだお聞きはしておらないんですけれども、この予算額1,310万3,000円の範囲内でいけますよということは聞いております。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。一応予算額の範囲内というところ、理解させていただきました。

その後、本町負担分が983万2,000円というところなんですけれども、その計算の中で委託費のところ、業務委託支払い額から交付金を差し引いた額が4,215万5,000円となっているんですけれども、交付金というのは幾らになるわけなんですか。

委員長（鱧谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）この令和3年度分として交付決定されております額が4,270万1,000円でございます。

委員長（鱧谷陽子君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）そしたら、最初に契約。すみません、どこか元は業務委託費、契約金額が3億266万円ですね。

委員長（鱧谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）ちょっとすみません。まず、令和3年度でこの契約上確定しております額が7,175万3,000円でございます。これを3市町で負担する。さらに下の地質調査業務、これも負担するというので、この7,175万3,000円と1,310万3,000円を足して、そこから交付金額を引いていただきますと、4,215万5,000円という計算になっております。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。そしたら、それで計算して負担額が925万8,000円になるというところですね。

その後、補助金というのが57万4,000円とあるんですけども、これは地元説明会に係る費用ということで、これは説明会だけの分なんですね。あと、この分については1市2町で割るところ、均等に割るところですが、理解させていただきますが、あと地元のその中で、地元説明会の中で、地元の方は周辺地区から要望を集約して、その分についての対策についても、経費というものは今検討中というところの説明があったと思うんですが、今のところ、こういった要望が上がっているんでしょうか。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） 今、お伺いしているのは、地元のある町の会館の改修工事でありましてとか、それ以外はまだちょっとはっきりしたものは上がってきていないような状況でございます。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。会館の改修でどのくらいの予算というところも示されているんでしょうか。それはまだか。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） 一応その地元からの要望ということでは金額が上がってきておるんですけども、まだ我々としましては、それに対して精査、検討していない状態でございます、まだ何も金額は決まっておらない状況です。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。また、その分については、いろいろ周辺の方たちの要望を聞き、事業がスムーズに動くようにしていかないといけないかと思うんですが、前回、昨年、特別委員会のときに説明していただいた中で、泉佐野市としては、旧泉佐野コスモポリス用地に係る土地利用構想案があるということで、今回この事業の分についても周辺地域のそういった声を聞くために大阪府のほうに申請すれば、そういったところの費用もこのコスモポリス用地ということで、府からの補助があるということで申請したというふうに説明あったかと思うんですが、違いますかね。それはまた違いますか。

委員長（鱧谷陽子君） 山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君） コスモポリスの関係については、まだちょっと正式な形の話合いといいましようかというところがまだですので、コスモポリス跡地に係る造成費用で交付金幾らというのは、正式にはまだ聞いていないというそういう状況です。ただ、関係するところの箇所につきましては、やはり連携を取っていかなければいけないので、情報提供のほうはお願いするというのは、かねがね熊取町のほうから組合、また泉佐野市のほうには、お話はさせていただいております。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。ちょっとそういったところの交付金もあれば、この事業費が地元対策として安くなるのかなというふうに思いましたので、何らかの形で分かっている分があればと思って質問させていただきました。すみません。

委員長（鱧谷陽子君） 巖根住民部長。

住民部長（巖根晃哉君） ちょっと1点補足なんですけれど、先ほど山本理事のほうから説明させていただいたとおりなんですけれども、実は私どももこの令和3年度、ずっと検討会を積み重ねてきた中で、産業集積地に係る協議というのは一度もしておらないんです。前回、議員の皆さんにこの場でお示した資料以降、その話については、一切議題には何も上がっておりませんので、もちろんその後、令和4年度以降、新たにその辺の集積地の案件が議題として上がりましたら、またこの場できちんとご報告させていただきます。状況として、私どもそれ以降何も聞かされておらないという

状況ですので、よろしく願いしておきます。

以上です。

委員長（豊谷陽子君）ほかに質疑ありませんか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）ほかにないんですしたら、すみません。環境影響評価方法書等の縦覧等意見の受付というところで、2番にあるんですけども、環境アセスメントについて、ちょっと私たちもその情報コーナーで見てはいないんですが、どうなんですか。結果的には、評価につきましては、何かご説明できることがありましたら教えていただけますか。

委員長（豊谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）環境影響評価のこの方法書の縦覧ですけども、これをもちまして皆さんから意見をいただいた上で、この方法書のほうを修正させていただいて、それから、実際には調査に入るといふ順番になっておりますので、一部ちょっと時間のかかるやつは、既に調査に入っている部分もあると聞いているんですけども、原則は、この方法書をちゃんと整えた上で調査に入るといふ進め方です。

委員長（豊谷陽子君）ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。以上で質疑を終わります。

これをもって、案件1、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件を終了いたします。

---

委員長（豊谷陽子君）次に、案件2、し尿処理広域化に係る経過等についての件について説明願います。山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君）続きまして、し尿処理広域化に係る経過等につきましてご説明申し上げます。

まず、1つ目の前回の特別委員会以降の経過でございますが、令和3年4月からし尿処理の事務委託を開始し、これに伴い、泉佐野市田尻町清掃施設組合の施設への本町し尿の運搬を開始しております。また、併せて大原衛生公苑施設の廃止に向けた施設内段差の清掃など、残務処理を開始いたしました。そして、令和3年9月末には、条例等改正の手続を経て、し尿処理施設としての大原衛生公苑を廃止しております。

次に、2つ目の広域化の効果額試算についてでございますが、効果額は、理論値で5,722万4,000円となっております。これは、①の広域化前と②の広域化後の差額でございます。

まず、①の広域化前の1億6,361万9,000円につきましては、平成29年度決算額を使用しております。これは1つ目の米印のところ、し尿処理広域化の本格協議は平成29年度から始まったことから、30年度以降は大規模修繕等の投資的経費の抑制を行っているため、広域化の影響を受けていない予算年度である平成29年度を広域化前の数値として使用したものでございます。また、②の広域化後の1億639万5,000円についてでございますが、この内訳といたしまして、令和3年度におけるし尿等処理負担金、これは1トン当たりの処理単価5,808円に令和3年度の搬入見込み量1万2,469.29トンに乗じた7,242万1,000円と、施設管理経常経費といたしまして、これは施設内の草刈りや植木管理などに係る経費でございますが、令和4年度予算計上ベースで105万1,000円。また、運搬距離が増えたことによる収集運搬経費増加分1,792万3,000円。さらに、本町受入れに伴う組合施設の改修負担金に対する起債償還分を、その平均値を取り1,500万円と仮定し、これらを積み上げた金額1億639万5,000円を広域化後の経費としております。

なお、米印の3つ目のところ、今回の広域化後の経費には含めてはおりませんが、これらとは別に、大原衛生公苑の施設除却費用として、将来的に約2億円程度の支出が発生すると見込んでおります。

最後に、以降の手続についてでございますが、現在残っている手続は、大阪府への補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に伴う廃棄物処理施設の財産処分の承認申請、一般廃棄物処理

施設廃止届出書の提出、それと熊取町都市計画審議会へのし尿処理施設廃止の付議となっており、順次速やかに処理してまいりたいと考えております。

説明につきましては以上でございます。

委員長（鱧谷陽子君） それでは、質疑を行います。質疑はありますか。浦川副委員長。

委員（浦川佳浩君） 大原衛生公苑の施設の除却費用として将来的に2億円程度の支出を見込むと、これ大体いつぐらいというふうな計画で言っていますか。

委員長（鱧谷陽子君） 山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君） この施設の跡地利用について、今、検討委員会等で議論といたしましょうか、話し合いを行っているところですので、それが決まってから、あの施設を残すのか、また除却するのか、そういったところもひっくるめまして方向性が見えてくるのかなというふうには思っております。現時点では、お答えできるのは以上です。

委員長（鱧谷陽子君） ほかに質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

委員長（鱧谷陽子君） 以上で、質疑を終わります。

これをもって、案件2、し尿処理広域化に係る経過等についての件を終了いたします。

---

委員長（鱧谷陽子君） 以上で、本日の案件は全て終了いたしました。

その他、何かご報告等があれば承ります。何かございませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で環境施設広域化調査特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

---

（「10時28分」閉会）

---

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

環境施設広域化調査特別委員会委員長

鱧谷陽子